

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化専攻 助教
氏名 Name	永原順子
専門分野 Academic Field	日本文化学・宗教民俗学

平成 30 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	1) 水の怪異伝承について *平成 29 年度より継続 2) 人工知能の身体観に関わる諸問題				
研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan (Approximately 100 Words)					
1) 水の怪異伝承について *平成 29 年度より継続 河川・湖沼・海洋等の水と人が接する場、あるいは水そのものに関する伝承は、国や時代によって多様なものが存在する。その中でも、災害や水難事故に関連する怪異伝承は少なくない。それらは、水に関する祭祀や禁忌などの信仰的側面だけでなく、各地の地理的状況や言語体系とも相互に影響しあっている。本研究では、国内外の水に関する怪異伝承を調査し、各地の人々の水に関する異界観の特徴について明らかにする。					
2) 人工知能の身体観に関わる諸問題 からくり人形や文楽人形は、外見や動作を人間に似せようとする。その一方で、能の役者は、抽象化かつ制限された動作によって人間から遠ざかるように思える。それらに対して我々は畏怖し、魅了され、様々な伝承を生み出し、人間とは異なる魂の存在を感じることもある。また、実体を伴わざる未知の存在が、神格化や妖怪化を経て畏怖の対象となることも少なくない。これら“既存”の異界と人間との関わりとを論ずる視点は、人工知能と人間との関わりとの解明に何を寄与できるのか。身体観を中心に検討したい。					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	民俗学	宗教学	文化人類学		
キーワード Keywords*2	怪異伝承	芸能	身体観	人工知能	